

GREEN RADER

全農長野県本部情報
／グリーンレーダー

2022 VOL.517

06



A-Policy【重点事業方針】

生産振興部の取組み

生活部 燃料・ホームエネルギー課の取組み

JFA改革 自己改革工程の進捗状況結果について 03～05

A-Reports

- | | | | |
|---------------------------|----|--------------------|----|
| ・JA佐久浅間専用肥料「望ちゃん」発売 | 06 | ・JA全農長野の事業現況 | 10 |
| ・県スポーツ協会に長野米などを寄贈 | 06 | ・今月のおすすめレシピ | 10 |
| ・JA長野県ビルの県産花き展示 | 07 | ・6月のラジオ番組表 | 10 |
| ・北信事業所管内でハウスドウ初出荷 | 07 | ・編集後記 | 10 |
| ・新採用職員紹介 | 09 | | |



光と風と水のハーモニー

JA全農長野

生産振興部

生産振興部の取組み

JA全農長野生産振興部は、これまで野菜・果樹に特化した生産振興や災害に強い施設化及びスマート農業の普及推進、優良種苗の安定供給、営農指導員の支援、GAP基準の準拠による安全安心な農産物の生産体制、技術情報誌発行など生産現場を軸に事業展開を行ってきました。今年度は昨年の試験調査・実証の成果を踏まえながら、新たな農業振興事業へもチャレンジして参ります。

■災害等に強い施設化の推進

生産安定と収量増を目指すためには、「施設化」が有効な手段となります。しかし、施設化は大きな投資となり、また災害に負けない強度が求められます。昨年は、リンゴ高密度植わい化栽培施設で県下4カ所目となるモデル圃を設置しました。このモデル圃は強度強化を目的としたコンクリート製支柱と価格抑制のための鋼管支柱の組み合わせによる施設となります。本年度は、モデル圃を活用したトレリス強化の講習会の実施や更なるコスト抑制の研究を進め、普及しやすい施設化を推進します。

■スマート農業の実証・分析と普及に向けた提案

■生産振興
昨年はミニトマト、業務用キャベツ、ピーマンについて、いくつかの試験検証を繰り返し、栽培面積・収量増に取り組んで参りました。これらに加え、本年度はピーマンの簡易ハウス（施設化）による生産振興を行います。施設化による収量向上実証や低コストハウスの実証、昨年から品種試験の結果により、既存生産者の手取り向上と新規取り組みに向けた情報提供により、生産出荷量の拡大を目指して参ります。

AIやIoTなど最先端技術の開発・商品紹介等の情報・事例は、日々多数発信されています。国も先端技術を駆使した新しい農業スタイルを提唱しています。しかしながら、生産現場への最先端技術導入は、その場所の栽培

培環境、状況・ニーズを考慮しなければなりません。そのため、実演や研修会をとおし、実用の検討を進めます。とりわけ、本年度においても、全農長野生産購買部と農業用ドローンの活用方法の研究を進めます。また、生産現場の情報管理の高度化、活用の効率化を狙い「JA全農長野農業生産管理支援システム（仮称）」の開発を行います。

■優良種苗の安定生産推進

所管する野菜種苗センターでは、優良種苗の安定生産体制の強化にも取り組んでいます。また、リンゴ苗木供給では、JA出資法人に委託し、フェザー苗等の生産拡大を図っており、本年度は5万本のフェザー苗の生産供給を目指しております。

■安全安心な農産物の供給体制の推進

JA長野県グループでは安全・安心な農産物供給を行うため、農林水産省のGAP共通基礎ガイドラインに完全準拠した、新「長野県GAP基準」、

新「長野県適正農業規範」等にグループをあげて取り組んでいます。また、SDGs（持続可能な開発目標）に代表される情勢変化の中で、第三者認証GAPを産地に求める流れも加速しています。生産振興部は、第三者認証GAPの取得を目指す産地の支援も行っております。

このように生産振興部ではこれからも「持続可能な長野県農業」を目指し、農業生産現場に積極的に出向き、JAと共に取り組みを進めていきます。



ピーマン簡易ハウスの組み立て

燃料・ホームエネルギー課

生活部燃料・ホームエネルギー課の取組み

JA全農長野燃料・ホームエネルギー課ではLPガス・配達燃料油・JAでんき利用者向けのポータルサイトを

「JAうちエネポータル」を開発しました。今やポータルサイトは電力会社や携

帯電話会社で主流となっており、パレレス化による地球環境保全への貢献や有益な情報の提供によるご利用者

様の満足度向上が図られます。

JAうちエネポータルではLPガス・配達燃料油・JAでんき、といったご家庭における全てのエネルギーのご利用状況をご確認いただけます。（注：配達燃料油・JAでんきのご利用情報参照は2022年10月から予定）また、JAで開催される展示会や各種キャンペーン情報を発信し、ご利用者様にJAをより一層身近に感じていただくとともに、ますますご利用いただくための架け橋にしていきたいと考えております。

この度のポータルサイト開設にあたり、2022年7月末までにご登録いただいたご利用者様の中から抽選で100名様に1000円分のクオカードをプレゼントする「早期ご登録キャンペーン」を実施しております。今後は、ポータルサイトからの応募で特産品やスポーツ観戦チケットなどが当たるキャンペーンを定期的に実施していきます。この他にもご利用者様の満足度が向上する機能を追加していきますので、ぜひこの機会にご登録いただき、ご利用をお願いいたします。

※裏表紙もご覧ください。

LPガス・配達燃料油・JAでんきの料金やお得な情報を確認できる

JAエネルギーご利用者様向け「JAうちエネポータル」

主な機能

- ご利用明細**
JAでご利用いただいた月々の燃料代の使用量やご利用料金をご確認いただけます。
- お得情報**
JAで実施するキャンペーンや展示会のお得な情報等を配信いたします。
- 配信情報**
お客様へ個別にご案内したい重要な情報を配信いたします。
- 設備保安情報**
ガスで実施させていただく点検の予定時期やお客様がご使用中の機器の情報を掲載いたします。

スマートフォンからのアクセスはこちら

早期ご登録キャンペーン
2022年7月末までにご登録されたお客様の中から抽選で100名様にクオカード1000円分プレゼント!!
当キャンペーン期間後もお得なキャンペーンを実施します。

キャンペーンの詳細はこちら

【登録方法】

- ①お手元のJA-LPガスの検針票をご用意ください。
- ②上記チラシのQRコードをスマートフォンにて読み取り、ホームページの手順にならってご登録ください。



自己改革工程の進捗状況結果について

全農長野県本部は、JAおよび子会社とともに、JA自己改革の進展を加速化させ、農業所得の増大と地域の活性化に取り組んできました。農協改革・JA自己改革は令和3年6月閣議決定の規制改革実施計画により自己改革実践サイクルの構築と実践に取り組んでいくことで結論が得られました。引きつづき「不断の自己改革」として中期事業計画（令和4～6年度）の実践によりJA支援に取り組みます。

I. 「中期事業計画（令和元～3年度）」における基本目標「令和4年3月末総括その1」積極的な生産振興に基づく農業生産基盤の維持強化

- (1) マーケットニーズに基づく産地品目別振興と生産安定技術の推進に向けた実証圃試験および結果分析・共有、規格簡素化等の作業軽減による業務加工需要への対応拡大に取り組みました。
- (2) 生産安定と収量増を目指した施設化をすすめるとともに、JAとの経営規模拡大に向けたスマート農業推進のための情報共有と導入に向けた取り組みをすすめました。

その2 販売力強化とコスト低減による農家組合員の手取り最大化

- (1) 総合品目による安定供給体制の推進と卸売会社等との連携強化をはかるとともに、新規商品開発や付加価値を高めた商品提案等、企画提案による販売拡大をすすめました。また、eコマース事業の拡大に向けた本会の独自性の高い販売実施および商品開発に取り組みました。
- (2) 資材の規格・原材料集約や肥料・農薬の大規模農家への直行配送方式の拡大による配送効率化、低価格モデル農機の共同購入や農機県域推奨型式の拡大および中古農機流通促進により生産コストの抑制をはかりました。

その3 経済事業拠点の合理的・効率的な運営整備

- (1) JA米穀施設・営業倉庫の効率的利用策の検討や、県域物流拠点の補完機能強化およびJA資材店舗・物流拠点の再編整備の提案をすすめました。
- (2) 輸送効率化に向けたパレット輸送やモーターシフト輸送試験の継続実施と効果の確認、および輸送効率化に適合した段ボール等資材の試験継続実施と検討をすすめました。

II. 各事業別 令和4年3月末進捗状況結果および次期事業計画へのすすめ方

【生産振興部】

実行員体策	3年度計画	進捗状況結果	達成度合いと今後のすすめ方
1. マーケットニーズを起点とした生産振興の推進	(1) マーケットニーズに基づく品目提案 ① 品目の選定と生産安定技術の推進 ② 多収性と労働生産性向上が望める生産技術の普及推進 ③ 業務加工需要に対応する産地の拡大	① 実証圃を活用した産地推進 ② 普及 ③ 拡大	① 実証圃実績に基づく栽培技術発信 ② 講習会開催 ③ 産地と実需者との調整 ④ ピーマン実証圃の結果による簡易ハウスモデルの検討を行う ⑤ リンゴ高密植わい化栽培の推進を継続 ⑥ 業務向けキャベツの品種試験の継続

(1) 実需者や卸売会社との情報連携による新規品目や生産拡大の取り組み実施	① 果実2件	2件	リンゴはカットリンゴ/ドライフルーツ向け、ブドウは新規品目を追加提案し業務用の集荷拡大に取り組んだ。引き続き経営安定の一手法として、取り組みをすすめる。
① 果実…新品種（シナノリップ他） ② 野菜…業務キュウリ拡大他 ③ 花き…業務用トルコキキョウ他 ④ きのこと…商品企画提案、業務・加工需要供給ルート開発の実施 ⑤ 営業課…新規品目・商品企画提案供給ルート開発の実施	② 野菜2件 ③ 花き 県内実需者取引拡大 ④ きのこと4件 ⑤ 営業課5件	2件 2件 5件 31件 供給拡大 12件 新規16件 切替3件	県内実需者との商談・打合せを継続的に実施し取引拡大をはかる。 まいたけ贈答用アイテムをJAタウン限定商品として1月に発売。実需者・加工メーカー等と連携し商品開発を継続する。 取引先およびJAとの連携、営業推進強化により拡大をはかった。新規取引の開拓、既存取引先への新規品目、企画提案を継続して行う。
(2) 商品開発力・提案力の強化による販売拡大 ① 加工向け果実の集荷拡大専用栽培 ② 業務加工用キャベツ拡大 ③ 量販向けコゴク栽培	① 250t ② 6,900t ③ 250万本	ブドウ91t 7,800t 196万本	品質低下の指摘が多いため、栽培体系や品種選定の見直しを行い、品質確保と契約遵守に努める。 新規生産者のフォローを実施。今後、生産者台帳の整備、出荷計画の精度向上をはかる。

3. マーケティング情報に基づく生産販売提案の取り組み強化

(1) JAとの連携・共同による広域集出荷拠点の整備とバラ集荷・買取集荷の実施	果実…モデル構築 新規件	3件	高密植リンゴ栽培専用取引開始。取り組み生産者2名でぐんま名月66ct、サンふじ252ctの実績。今年度、集荷・荷造り・販売手法をさらに精査し、数量拡大をはかる。 実需者のニーズに応じ、大玉化品種試験の導入後、出荷規格の見直しと出荷段階別の変更をすすめる。
① 遠隔地輸送におけるモデルシフト検討	きのこ…JRコンテナ継続利用	継続利用による輸送コスト低減達成	JRコンテナ継続利用と中国地区へのJRコンテナ輸送の企画発信。

4. 集出荷機能の強化と広域的利用体制の確立

(1) 広域的な視点からの集出荷・輸送・荷降の効率化	九州向け輸送部 分導入支援	輸送モデルの導入提案	JA・輸送協力会へ継続して導入提案を行う。
----------------------------	------------------	------------	-----------------------

(1) 果実…モデル構築 新規件	3件	高密植リンゴ栽培専用取引開始。取り組み生産者2名でぐんま名月66ct、サンふじ252ctの実績。今年度、集荷・荷造り・販売手法をさらに精査し、数量拡大をはかる。 実需者のニーズに応じ、大玉化品種試験の導入後、出荷規格の見直しと出荷段階別の変更をすすめる。
---------------------	----	--

2. 生産安定に向けた施設化の推進

(1) 生産安定と収量増を目指した野菜類の施設化推進 ① 適正な強度を備えたトレリス・平棚ハウス・果樹多目的ネット等の設計施工と推進 ② 生産安定と収量増を目指した野菜類の施設化推進 ③ 養液栽培などの高度技術の普及推進	① 普及への検討 ② 推進 ③ 推進	① モデル園の設置 ② モデル園の設計 ③ 研修会開催	① 災害に強いトレリスのモデル園を設置した（4ヶ所目）。 ② ③ 果菜の施設栽培モデルを設計。次年度に実証圃を設置する。
---	--------------------------	-----------------------------------	---

3. 経営規模拡大に向けた最先端農業機械の導入推進

(1) スマート農業推進に向けた品目選定と導入目的の選定	試験導入検討	① ドローン実証実験 ② 自動車刈機	① 実証試験や実演会のデータを基に、活用方法の更なる研究と実用の検討を行う。 ② リンゴ園でのソーラーパネルを利用した自動車刈機の省力化試験結果を確認した。
------------------------------	--------	-----------------------	---

4. 優良種苗の安定生産推進

(1) 種苗センターにおける優良種苗の安定生産体制の強化	170万本	160万本	生産工程ごとの品質管理強化と品質向上に向けた技術研究を行う。
------------------------------	-------	-------	--------------------------------

5. 品目別研修会の計画的開催

(1) 指導者会議専門4ブロック活動との連携	60回	55回	各ブロック・部門ごとで栽培技術・知識の習得と連携の強化をはかる。
------------------------	-----	-----	----------------------------------

【生産販売部】

1. 長野米営業力強化

実行員体策	3年度計画	進捗状況結果	達成度合いと今後のすすめ方
1. 直接営業による販売比率90%達成 ① 実需者への直接営業の拡大 ② 重点実需者への複数年契約推進	① 92% ② 3年産 35,000t	3年産 92% （実需者が明確な契約比率） 3年産 31,287t	3年産米の最終契約推進。 4年産米事前契約推進および複数年契約提案。

2. 生産者手取りの最大化に向けた販売力の強化

(1) 重点実需者への総合品目供給に向けた目標設定と推進	きのこ…80% 花き…15% 野菜…37%	えのきたけ84%、 ぶなしめじ80%、 なめこ81% アルストロメリア13% 37% 23%	お中元お歳暮ギフト、輸出ともに整調に推移。実需者商談を強化し、産地メリットのある企画提案を行う。 業務加工向けの取引量減少やレタス類の多雨等による大きな欠品が発生。 契約数量の精査と欠品時の付帯条件、取引条件の整備と品質改善の励行。 商談会の定期的な実施による予約相対取引の拡大。 きのこ重点取引先への継続推進。契約的取引の履行促進策（特注・予約・固定）。
------------------------------	-----------------------------	---	--

6. 輸送効率化のためのパレット輸送、出荷資材統一の取り組み

(1) パレット輸送試験の実施による効果検証	きのこ…貸与型パレットによる集出荷対策構築	県内卸売市場との連携協議	貸与型パレットでの集荷は未達。実需者販売、県内市場連携販売の構築実施。
------------------------	-----------------------	--------------	-------------------------------------

【生産購買部】

実行員体策	3年度計画	進捗状況結果	達成度合いと今後のすすめ方
1. 段ボール規格集約による価格値下げ	(1) 類似規格の集約化、材質・寸数の変更提案	3品目 8品目	りんご贈答用段ボール、花、梨等他産地規格への変更。 ぶどう等で集約検討をすすめる。

2. 段ボール適正包装の提案推進

(1) ショートフラップ化の品目拡大、撥水原紙の見直しによる過剰包装の見直し	13規格	18規格	コイン、グリーンボールでショートフラップ化、りんご・青ネギ・ナガイモ等で撥水原紙からの切り替え実施。 さゆり、カリフラワー等の切り替え検討をすすめる。
--	------	------	--

3. 低コスト・省力資材の開発、実証、普及

(1) より安価なBB原料への切り替え拡大	3銘柄	2銘柄	菜種粕から価格変動が安定しているひまし油粕、B521への切り替えをすすめたが未達。次年度2銘柄切り替えを予定している。 新規除草剤の拡大により計画達成。
-----------------------	-----	-----	---

4. 担い手への提案型推進の強化

(1) 担い手への「わたしの肥料」提案推進	4,430t	4,861t	畑作中心に拡大し計画達成。
(2) 農薬担い手直送規格の普及面積拡大	3,500ha	4,451ha	新規除草剤の拡大により計画達成。

5. 低価格モデル農機の共同購入

(1) 第2弾共同購入トラクターSL33L（33馬力）の供給拡大	成約累計75台	成約累計54台	コロナ禍による推進機会の減少により計画未達。 各種媒体によるPR強化をすすめる。
----------------------------------	---------	---------	---

6. 重点購買による農機県域推奨型式の機種拡大

(1) 県域推奨機種（型式追加設定）	累計8型式	累計9型式	乗用モア2型式を追加設定。 メーカー生産都合により5月より取扱開始。
--------------------	-------	-------	---------------------------------------

7. 中古農機の流通促進

(1) 中古農機情報サイトによる流通促進	成約30台	成約19台	玉不足による掲載台数の低減。 県本部買取を拡大し、玉確保をすすめる。 優良中古機の確保に繋がらず、取り組みJAの拡大に繋がらなかった。 JA収益確保に向けた課題整理が必要。
----------------------	-------	-------	---



「望ちゃん」パッケージ

J A全農長野が製造を全面的に支援したJ A佐久浅間専用肥料「望ちゃん」が、4月29日（金・祝）に発売されました。

これまでも堆肥を原料とした指定混合肥料はありましたが、この肥料は、日本で初めて「地元産」の堆肥（佐久市望月土づくりセンターの「もちつき有機」（完熟たい肥）を原料

に使用した商品です。

地域での堆肥利用はある程度されているものの、農地の宅地化による異臭問題や散布する手間（専用農機や散布量の多さ）が障害となり、この先も堆肥を利用し続けるのは困難な情勢にありました。一方、2020年12月に肥料法が改正され、2021年5月に農林水産省で食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現する「みどりの食料システム戦略」が策定されました。これを受けて同年6月にJ A佐久浅間と全農長野との間で「地元産の堆肥を活用した肥料を作れないか」という話が持ち上がり、2022年4月の発売目標を設定しました。全農長野は実現に向けて先進事例の調査や視察調整など、全面的にJ Aを支援しました。

発売日にはJ Aファーム佐久店でJ Aの高柳利道副組合長が店頭に立ち、来店者に「望ちゃん」をPRしました。高柳副組合長は「販売価格



J A職員の手書きPOPを持つ東信事業所営農資材課の三澤次長（左）とJ A佐久浅間の高柳副組合長（右）

の向上とコストの削減により所得の増大に取り組む」と力を込めます。

化学肥料価格高騰の中、地域資源を最大限活用することで肥料コストの低減や土壌の物理性改善による農産物の品質向上、堆肥流通の改善につながるとしています。全農長野はこのような取り組みをおして今後も生産者のお役に立てるよう尽力して参ります。

県スポーツ協会に長野米などを寄贈

J A全農長野は、県内青少年スポーツ選手の強化に役立ててもらおうと、長野県産「コシヒカリ」などを（公財）長野県スポーツ協会に寄贈しました。寄贈した県産「コシヒカリ」3トン、「信州まるごとりんごジュース（160g）」3000本、「wow!!あま辛テリヤキ味なめ茸（135g）」他「1500個は、県スポーツ協会をとおして、全国大会をはじめ各種大会で活躍している県内のスポーツ団体に贈られます。

4月25日（月）の寄贈式で、全農長野の岡村達雄副本部長は「選手たちにはスポーツを通じて大きな成果を実らせてほしい。お互いに長野県を盛り上げていきましよう」と目録を手渡すと、茅野繁巳専務理事は「新型コロナウイルス感染症で、まだまだ先が見通せない中ではあるが、県内スポーツの強化に努められる様、有効活用していきたい」と感謝の気持ちを述べました。この取り組みは、1999年度から始まり、今年で24回目となりました。

※表紙左上の写真＝茅野専務理事（左）に目録を手渡す岡村副本部長（右）

【畜産酪農部】

実行員体系	3年度計画	進捗状況結果	達成度合いと今後のすめ方
1. 生産基盤の維持確保			
(1) 生乳出荷量、酪農家戸数の維持確保	84,500t (255戸)	86,978t (247戸)	大型農家の規模拡大により生乳出荷量は計画達成したが農家戸数は減少。県本部対策事業等の活用による基盤維持、強化を実施する。
(2) 性別別精液普及	2,000本	1,400本	初妊牛の相模安による利用農家の減少により計画△600本、計画的後継牛生産についての情報発信および推進を行う。
2. 信州産ブランドの確立			
(1) 信州プレミアム牛肉の生産販売	2,300頭	2,298頭	計画をやや下回った。有利販売実践により頭数確保ははかり、定期的な素牛導入推進を実施する。
(2) 銘柄豚の特色ある販売方式の拡大	10銘柄継続	10銘柄継続	取引先との連携強化をはかり、次年度取引に向けた協議をすすめる。
3. 県本部生産農場の機能発揮			
(1) 素子豚供給頭数SPF豚繁殖センター	22,500頭	22,292頭	肥育農場数減少により前年△15頭。要員と育成母豚確保による頭数確保をはかる。
(2) 預託牛事業拡大による農家経営支援（三岳牧場）	410頭	321頭	ホルス預託前年△35頭。大口酪農家の預託牛減少による。関係J A専門配と連携し、預託条件の変更（若齢牛）を行う。
(3) 生乳出荷量の確保（八ヶ岳牧場）	1,860t	1,612t	初妊牛乳量の減少により計画未達。防寒防風対策を徹底し、初妊牛の分娩時体重の増加をはかる。
【生活部】			
実行員体系	3年度計画	進捗状況結果	達成度合いと今後のすめ方
1. 農業生産用燃料支援対策の実施			
(1) 軽油・灯油・重油の配達供給	16,500kℓ	15,442kℓ	J A・県本部一体となった担い手農家支援として、軽油支援対策を4～11月、灯油・重油支援対策を10～3月に実施したが、コロナ禍や高値の影響により計画未達となった。支援対策は軽油、灯油、重油ともに5月まで延長し実施する。
2. J AのLPGガス小売事業強化			
(1) 新規顧客獲得による供給戸数確保	戸117,500	戸116,591	新規顧客獲得やガス器具キャンペーン等により顧客囲い込みをはかったが、競合他社の切替等により供給戸数は減少した。他社切替防衛マニュアル活用の徹底等によりJ A営業体制の強化をすすめる。

3. 電力小売推進体制の強化

(1) 組合員向けの電力供給開始に向けた取り組み促進	低電圧供給 県下 2,000戸	低電圧供給 県下 1,154戸	J Aでんき取扱いは6J Aに拡大したが、4J Aが内部職員推進のみ実施となった。契約件数拡大に向け組合員推進に取り組む。
----------------------------	-----------------------	-----------------------	---

4. J A自動車事業の収支改善

(1) 取扱台数の拡大	2,750台	2,298台	半導体不足の影響で納車が遅延し取扱台数は低調であった。在庫保有する買取購買車を主軸に台数確保をすすめる。
-------------	--------	--------	--

5. 生活事業取扱強化

(1) 推進体制強化による宅配おまかせ会員を主とした戸数の維持	おまかせ会員 6,500戸 新規会員 1,000戸	おまかせ会員 5,127戸 新規会員 434戸	J A広報誌や新聞・TVCMでのPR掲載および新たなキャンペーンの実施と推進資材を活用した新規獲得を行った。引き続きTVCMの放映にあわせた推進強化をはかる。
(2) 虹のホールグループセレモニー施行件数とシェアの確保	8,700件 (シェア34%)	8,517件 (シェア32%) ※312月	コロナ禍による小規模葬化対策として、小規模葬プランの拡充とネット広告の充実により施行件数の確保に努めた。今後も虹のホールグループでの活動強化をしていく。
(3) J Aとの連携強化による家庭業新規戸数拡大	100戸	92戸	新規配置キャンペーンの取り組みやJ A広報誌への掲載などJ Aとの連携による事業のPR活動を行い、事業譲渡にむけ基盤確保の活動をした。

J Aグループにおける「自己改革実践サイクル」の取り組み状況

(1) J Aグループは、第29回J A全国大会及び令和3年10月全中理事会において、全J Aで自己改革実践サイクルに取り組みを決定しました。本県においては、第72回J A長野県大会（令和3年11月）で決議した「J A長野県長期ビジョン2022～2024 3力年計画重点事項」に同サイクルへの取り組みを盛り込んでいます。

(2) 各J Aは自己改革実践サイクルの初年度として、令和4年度は、組合員との対話をふまえて必要な要素を盛り込んだ自己改革工程表等の総代会決定を確実に行うとともに、その着実な実践に取り組めます。

(3) 県域は、中央会が中心となってJ A支援にかかる県連協議の場を設け、J Aにおけるコミュニケーションの作成・対策の検討・実施状況等を確認、共有化しつつ、必要な支援に取り組めます。

令和3年度 JA長野県ビル 県産花き展示品目

3月29日～	4月5日	アルストロメリア
4月5日～	4月12日	ダリア
4月12日～	4月19日	デルフィニウム、バイモユリ
4月19日～	4月26日	ライラック（ピンク、白、紫 等）、ブルーパフェーム
4月26日～	5月6日	アルストロメリア（フロリンカ）
5月6日～	5月14日	シャクヤク（白、ピンク、赤、濃ピンクなど）
5月17日～	5月24日	ストック
5月24日～	5月31日	シャクヤク（白、ピンク、赤、濃ピンクなど）
5月31日～	6月7日	ギガンチューム、エレムルス
6月7日～	6月14日	カラー、プブレウム、デルフィニウム
6月14日～	6月21日	ブルースター、スモークツリー、房すぐり
6月21日～	6月28日	カーネーション（SP3、STD3）
6月28日～	7月5日	アジサイ、ホワイトレース、スカビオサ
7月5日～	7月12日	ルリタマアザミ、クラスベディア、アブラドウダン
7月12日～	7月19日	スターチス、ハイブリッドスターチス
7月19日～	7月26日	スターチス
7月26日～	8月2日	アルストロメリア、新鉄砲ユリ
8月2日～	8月9日	グラジオラス、ヒマワリ
8月9日～	8月16日	コギク、SPキク、輪ギク
8月16日～	8月23日	トルコギキョウ
8月23日～	8月30日	ケイトウ、ヒペリカム
8月30日～	9月6日	リンドウ、シュウメイギク
9月6日～	9月13日	輪ギク
9月13日～	9月20日	クジャクソウ、オキシペタルム、バイナッブルリリー
9月20日～	9月27日	コスモス、ソリダコ、利休草
9月27日～	10月4日	フジバカマ、オミナエシ、タカノハススキ、スプレーギク
10月4日～	10月11日	カーネーション
10月11日～	10月18日	ユニカル類、トウガラシ類、ハナナス
10月18日～	10月25日	トルコギキョウ
10月25日～	11月1日	フォックスフェイス、オモチャカボチャ、ロシアンオーリーブ
11月1日～	11月8日	シンフォリカルボス、ユーカリ、実バラ
11月8日～	11月15日	クレマチス
11月22日～	11月29日	ストック
11月29日～	12月6日	ダリア
12月6日～	12月13日	ユーフォルビア・フルゲンス
12月13日～	12月20日	サンゴミズキ、黄金ミズキ、オトメリンゴ
12月20日～	12月27日	アルストロメリア
12月27日～	1月5日	南天、ボケ、ハボタン
1月5日～	1月10日	アネモネ、花木類
1月10日～	1月17日	ダリア
1月17日～	1月24日	キンギンソウ
1月24日～	1月31日	アルストロメリア（フロリンカ）
1月31日～	2月7日	ダリア
2月7日～	2月14日	アルストロメリア
2月14日～	2月21日	デルフィニウム、クリスマスローズ、ユーフォルビア
2月21日～	2月28日	アルストロメリア
2月28日～	3月7日	アルストロメリア
3月7日～	3月14日	クリスマスローズ、アネモネ
3月14日～	3月21日	サクラ
3月21日～	3月28日	アルストロメリア



キク、コギク



ダリア



ヒマワリ、グラジオラス



カーネーション



スターチス



アルストロメリア



シャクヤク



トルコギキョウ

JA長野県ビルの県産花き展示

1年間を振り返り

JA全農長野果実花き課では、令和3年度の1年間、長野県産花きの認知度向上と消費喚起をめざし、JA長野中央会と協力してJA長野県ビル1階ロビーのショーケースに展示を行いました。

現在、果実花き課で生産振興を進めている4大品目にはアルストロメリア、トルコギキョウ、キク類（量販コギク含む）、カーネーションがあります。地域重点品目としては、各事業所・JAで振興しているダリアやシャクヤク、ストック、ソリダゴ、グラジオラス、ヒマワリ、コスモス、花木類などがあります。このほかにも、県内では多種多様な花き

類が栽培されており、年間60種類以上の品目を週ごとに入れ替えて展示しました。

また、JA長野県グループでは、新型コロナウイルス感染症拡大による花きの需要低迷の影響を受けて開始した、「県内産花き一人一束購入運動」の取り組みを進めています。JA長野県ビルでの花き展示には、グループ内でのこうした活動を後押しする目的も含めて実施しています。

展示をとおして、ビルへの来訪者に花を楽しんでいただくほか、JAグループ職員が自ら県内の花を購入しようと思うきっかけを作り、家庭需要に波及させていくため、令和4年度も県内産花きの消費拡大につながる展示を継続して参ります。

北信事業所管内でハウスブドウ初出荷

JA全農長野北信事業所管内のJAながのから4月24日(日)シャインマスカットが、JA中野市から4月27日(水)にナガノパープルや種なし巨峰が初出荷を迎えました。この内、JAながの須坂共選所にはシャインマスカット105kgが運び込まれ、東京や大阪などの市場への出荷準備がされました。シャインマスカットの初出荷は昨年比べて1日早く、味・品質とも上々の仕上がりとされており、ハウス物では7月上旬から8月中旬頃に出荷ピークを迎えます。

また、5月8日(日)からJAながののクイーンルージュが初出荷となりました。7月には他の産地からも出荷が始まる予定です。今年は昨年よりも数量が増加となる見込みで、ぶどう三姉妹として2年目となる今シーズンは、更なる販売拡大を図っていきます。



シャインマスカット



クイーンルージュ

JA全農長野の事業現況▶
令和4年度4月末部門別実績表 (単位：百万円、%)

部門	区分	実績	計画比	前年比
生産振興課		17	—	—
野菜種苗センター		35	84	82
生産振興部計		52	127	123
米	穀	956	86	73
果実花き		220	90	77
野菜きのこ		1,456	67	77
営業		289	77	87
生産販売部計		2,922	75	76
包装資材		402	91	97
生産資材		1,602	105	100
農業機械		609	111	73
施設住宅		199	200	28
生産購買部計		2,811	108	79
畜産酪農		2,451	106	93
三岳牧場		23	113	122
SPF繁殖センター		27	106	107
ハケ岳牧場		16	88	91
畜産酪農部計		2,516	106	93
燃料・ホームエネルギー		2,282	103	101
S S 協同経営		688	114	115
生活		713	104	94
生活部計		3,684	105	102
長野県本部計		11,985	96	87

(内部販売高含む)

6月のラジオ番組表▶

放送日時	放送局	番組名	放送内容(予定)
6/22(水) 11:50	SBC ラジオ	坂ちゃんの ずくだせえびりてい内 「暮らしの応援団」	農業機械課

グリーンレーダーの
ツイッターを始めました

JA全農長野
【公式】グリーンレーダー

@ja_greenradar



編集後記

6月に入ると本格的な梅雨の季節となり、ジメジメとした日々は気持ちも落ち込みます。また近年は自身の健康管理不足により体重も増え、梅雨のような湿気に耐えられない体となっていました。

健康といえば最近、左腰上部に経験したことのない激痛が走りました。すぐに治るだろう、気のせいだと思っておりましたが、なんと表現していいのかわからない痛みが続き、すぐ病院に向かいました。結果は「尿管結石」とのこと。4mmの石が暴れたのだそうです。先生からは「後もう一歩なので、このまま様子見で」と言われ、不安な毎日を送りましたが、数日後、痛みもとれ完治しました。今後は毎日2ℓの水を飲むことを日課として、健康管理には十分に気を付けてまいりたいと思います。

さて新型コロナウイルス感染症については、感染者数が一進一退を繰り返しており、まだまだ我慢の日々は続いております。経済活動を進めながら地道な感染対策を続けるしかありません。ウイルスが変異しても感染の経路は同じです。引き続き飛沫を浴びない、飛ばさない、換気の悪い場所を避け、マスク着用、手洗いの実施など基本の徹底を行ってまいります。

(一)

今月のおすすめレシピ

料理家 河瀬璃菜 監修

早×楽×健康
信州野菜の三ツ星レシピ

レタスと豚肉の塩昆布蒸し

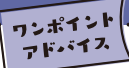


■材料(2人分)

- ・レタス 1/2玉
- ・豚バラ薄切り肉 200g
- ・塩昆布 10g
- ・ごま油 大さじ1
- ・白いりごま 適量
- ・塩コショウ 少々
- ・酒 小さじ2

■作り方

- ①レタスは手でちぎる。豚肉は食べやすい大きさに切り、塩コショウで下味をつける。
- ②耐熱ボウルにレタス、塩昆布、豚肉、レタス、塩昆布、豚肉の順番に重ねる。
- ③②に酒を回しかけ、ふんわりとラップをかけたら、600Wのレンジで5分加熱する。
- ④③にごま油、白いりごまを混ぜ合わせたら、器に盛る。



レタスは包丁で切るのではなく手でちぎることで味が絡みやすくなります。

新採用職員紹介

令和4年度の新採用職員を順次ご紹介します

管理部 総務広報課 深田麻衣



御嶽海関のように立派に活躍できるよう、がんばります！

はじめまして、総務広報課の深田麻衣と申します。生まれ育った神奈川県を離れ、4月より晴れて長野県民になりました。広々とした空、新鮮な空気、緑深い山々、どれも新鮮な情景ばかりで、毎日幸せを感じております。最近、80年代の音楽を聞きながら、長野県内のいろいろな場所を散策しています。

仕事も長野県生活も初心者ではありますが、この気持ちを忘れず、長野県と長野県産農畜産物の魅力をたくさん見つけ伝えていけるよう、人一倍努力してまいります。よろしくお願いいたします。

管理部 経理課 村山弘祐



数字に慣れるよう頑張ります！

はじめまして。管理部経理課の村山弘祐です。

出身は松本市で、祖父母が果樹園を営んでいるため幼少期から農業に親しみがありました。

趣味はスポーツ観戦(野球とサッカー)、散歩、服を買うことです。大学では数字に触れる機会がなかなかなかったのが不安のほうが大きいです。先輩方に積極的に質問して吸収し、一日でも早く皆様のお力になれるよう精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。

生産振興部 生産振興課 清水美穂



初めてトラクターに乗りました！

はじめまして。生産振興課の清水美穂と申します。出身は長野市で、祖父母がりんご農家を営んでおります。長野県産のりんごをはじめとする、果物や野菜をたくさん食べて育ちました。

趣味は昨年習い始めたピアノです。中学高校と吹奏楽をやっていたこともあり、音楽が大好きです。まだまだ初心者ですが、徐々に弾けるようになるのが楽しみです。

農業についての知識が乏しいため、勉強の日々ですが、一日でも早くJAや農家の方々のお力になれるよう頑張っています。ご指導のほど、よろしくお願いいたします。

JAエネルギーご利用者様向け

「JAうちエネポータル」

主 な 機 能



ご利用明細

JAでご利用いただいた月々の燃料代の
使用量やご利用料金をご確認いただけます。



お得情報

JAで実施するキャンペーンや
展示会のお得な情報等を配信いたします。



配信情報

お客様へ個別にご案内したい重要な情報
を配信いたします。



設備保安情報

ガスで実施させていただく点検の予定時期や
お客様がご使用中の機器の情報を掲載いたし
ます。

スマートフォンからの
アクセスはこちら



早期ご登録キャンペーン

2022年7月末までにご登録されたお客様の中から抽選で

100名様にクオカード1000円分プレゼント!!

当キャンペーン期間後もお得なキャンペーンを実施します。

キャンペーンの
詳細はこちら



光と風と水のハーモニー

JA全農長野

JA 全農長野ホームページ..... <https://www.nn.zennoh.or.jp>

インターネットで産地直送「JA タウン」..... <https://www.ja-town.com>

